

「脳活 balanser」の有効性を検証する 研究に関する告知

タッチパネル式認知機能測定機器であるトータルブレインケア社製「脳活 balanser」の有効性を検証する研究は、複数機関や施設において行われましたが、この度、より強固な知見を得るために各機関で得られたデータを統合し、論文や学会発表などの方法で情報発信する運びとなりました。本施設の研究に協力していただいた方々へは改めましてこころより感謝申し上げます。このことと関連し下記で具体的なご説明をさせていただきますが、本告知に対して協力を望まれない方は遠慮なくお申し出願います。お問い合わせやその方法につきまして下記をご参照ください。

1. データの利用目的とデータ統合の方法

【利用目的】高齢化が進む日本では認知症の有病率が高まる一途であり、より早期に、認知機能の軽微な低下などの初期症状を鋭敏に検出し、早期治療・早期介入に結び付けることが大切です。このような目的の下、過去に本学で実施された、以下の「脳活 balanser」の有効性の検証研究にて得られたデータは、他の複数機関で得られたデータと統合され情報発信されることにより、有効性を検証するためのより確かな情報として利用されることとなります。

本施設で行われた研究名：軽度認知障害または初期アルツハイマー型認知症に対する脳活 balanser Pro 評価の有効性と妥当性の研究

研究目的：認知症の診断やMCIから認知症への移行に対して、認知機能 balanser による評価の有効性と妥当性を検討する。

研究実施期間：2017年3月1日から現在まで

研究実施場所：兵庫県立リハビリテーション西播磨病院

【方法】本施設の研究に協力していただいて得られた皆様のデータは、個人名を記号化することにより、個人の識別が不可能な形で利用されます。よって個人のプライバシーは確実に保護されます。

2. 利用するデータの項目

- ・「脳活 balanser」で得られた得点
- ・簡易な全般的認知機能検査（Mini-Mental State Examination：MMSE）で得られた得点
- ・認知症の鑑別診断により得られた診断結果（病院で実施された場合のみ）

(つづき)

3. データ統合に関係する機関および研究者/関係者

・神戸学院大学総合リハビリテーション学部 特命教授 前田 潔*
特命助教 朴白順

・株式会社生命科学インスティテュート健康・医療CT部門診断支援部
部長 田中 智*
鶴田 修
徳田 真

・株式会社トータルブレインケア 代表取締役社長 河越眞介

*印は、研究機関、または企業における責任者です。

4. 本施設の研究にご協力をいただいた方々へ

本研究で得られたデータは、上記の大学および企業によって統合、解析されます。このことと関連して協力を辞退されたい場合は、下記の総合相談窓口までご連絡願います。本研究に関連する様々な事案は以下でご対応いたします。

責任者氏名：高橋竜一

所属：兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、高知大学医学部附属病院

住所：兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

電話番号（FAX）：(0791)58-1050

メールアドレス：(0791)58-1071

5. お問い合わせ方法

郵送、メール、電話やFAX等で承ります。